

第 55 回日本交通科学学会総会・学術講演会  
プログラム

● 名誉会長講演

6月20日 第1会場 10:10 - 10:40

「国会よもやま話」

衆議院議員

医療法人社団永生会 理事長 安藤 高夫

座長 南多摩病院 益子 邦洋

● 特別講演 1

6月20日 第1会場 14:20 - 15:20

「事故自動通報システムの歴史と今後の課題（自動運転社会に向けた期待も含めて）」

認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク(HEM-Net) 理事 石川 博敏

座長 名古屋大学 水野 幸治

● 特別講演 2

6月21日 第1会場 11:00 - 11:50

「視覚障害と交通事故」

西葛西井上眼科病院・東北大学 國松 志保

座長 帝京大学医学部救急医学講座 坂本 哲也

● 特別講演 3

6月21日 第2会場 13:30 - 14:20

「交通事故後の高次脳機能障害とその対応」

東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション医学教室 渡邊 修

座長 産業技術総合研究所 小野 古志郎

● 会長講演

6月20日 第1会場 9:40 - 10:10

「医工連携を基盤とした事故分析と救急医療システム」

医療法人社団永生会 南多摩病院 益子 邦洋

座長 独立行政法人 労働者健康安全機構 有賀 徹

● 教育講演

6月20日 第2会場 11:50 - 12:20

「シートベルト着用下での四輪車ドライバーにおける頭蓋内・脊椎損傷の頻度と臨床・画像上の特徴」

済生会宇都宮病院脳神経外科 稲栴 丈司

座長 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター 畝本 恭子

シンポジウム 1

## 交通事故死者数 2,500 人以下を達成するための新たな取り組み

6月20日 第1会場 10:40 - 12:30

座長：帝京大学救急医学講座教授 三宅 康史  
日本自動車工業会 和辻 健二

- ・ 基調講演：自動運転の実現に向けた警察の取組  
警察庁交通局交通企画課 自動運転企画室長 杉 俊弘
- ・ 自動運転の技術開発に資する事故データについて  
ーマクロとミクロ、2つの観点からー  
公益財団法人交通事故総合分析センター 木内 透
- ・ “スマホ 119（動画伝送通報）”による救急通報革命  
日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 本村 友一
- ・ 「Vital Signs Integrated Smart Car」構想  
松波総合病院 松波 英寿
- ・ 交通事故ゼロ社会実現に向けた啓発活動について  
トヨタ自動車（株）社会貢献推進部 松下 馨

シンポジウム2

## 先進安全自動車(ASV)の将来展望

6月21日 第1会場 13:30 - 15:00

座長：東京都市大学工学部機械工学科 榎 徹雄  
函館新都市病院 浅井 康文

- ・基調講演：先進安全自動車(ASV)推進に向けた国土交通省の取り組み  
国土交通省自動車局 技術政策課 課長 江坂 行弘
- ・先進安全技術普及分科会の立場から  
(独)自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車研究部長 河合 英直
- ・先進安全自動車(ASV)の現状と展望  
～自工会の視点から  
日本自動車工業会 安全環境技術委員会 安全部会 副部会長 神野 義久
- ・輸入車に導入されている ASV (先進安全自動車) 関連技術のご紹介  
日本自動車輸入組合/ビー・エム・ダブリュー 萩原 直樹
- ・AEB による追突事故低減効果の分析  
(公財) 交通事故総合分析センター 研究部 木下 義彦

事故自動通報システム (ACN, AACN, D-Call Net) の質の向上を目指して

6月20日 第1会場 15:20 - 17:00

座長：日本大学工学部

西本 哲也

日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 松本 尚

- ・ D-Call Net によるドクターヘリ実出動 (2019年)

日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 本村 友一

- ・ 先進事故自動通報システムの精度向上に関する検討

一般財団法人日本自動車研究所 安全研究部 三上 耕司

- ・ D-Call Net 通報事案のトリアーシ精度評価及び精度向上に関する検討

トヨタ自動車先進車両技術開発部 衝突安全技術開発室 小阿瀬 丈典

- ・ 全国交通死亡事故に対するドクターカー対応可能率の推計

一般財団法人日本自動車研究所 國富 将平

- ・ ドライブエージェントのサービスについて

ー運転システムの安全性向上に取り組み、交通死傷者ゼロ社会を目指すー

東京海上日動火災保険株式会社営業企画マーケティング室 山下 聖秀

- ・ D-Call Net に関する ITARDA の新たな取り組み

ーアルゴリズム標準化とオールジャパンの事故例調査ー

公益財団法人交通事故総合分析センター 木内 透

## 医工連携交通事故分析のあり方

6月20日 第2会場 14:20 - 16:00

座長：(株) 本田技術研究所 四輪R&Dセンター 吉田 傑  
東京医科歯科大学 救命救急センター 大友 康裕

- ・ 基調講演：我が国の医工連携事故調査について  
—創成期から近年までの歩みと将来展望—  
公益財団法人交通事故総合分析センター 木内 透
- ・ 交通事故発生状況と人体損傷の解明に果たす医工連携の役割  
筑波メディカルセンター病院 救命救急センター 河野 元嗣
- ・ 大学による医工学連携交通事故実態調査から見てきた自動車安全の課題  
日本大学 理工学部 機械工学科 富永 茂
- ・ 心損傷における医工連携交通事故分析マイクロ調査から見てきた現場へのフィードバック  
医療法人社団永生会 南多摩病院 朽方 規喜
- ・ 重症鉄道外傷の事故分析について  
東京医科歯科大学救命救急センター 森下 幸治

## 自動車アセスメント(JNCAP)の役割と課題

6月21日 第2会場 9:30 - 11:00

座長：日本文理大学 宇治橋 貞幸  
モータージャーナリスト 岩貞 るみこ

- ・基調講演：自動車アセスメントの現状と将来展望

国土交通省自動車局 技術政策課 国際業務室 室長 小磯 和子

- ・自動車アセスメントの役割と課題

-自動車メーカーの視点で-

日本自動車工業会 安全環境技術委員会 安全部会 高橋 信彦

- ・自動車アセスメント（JNCAP）への期待と要望

-日本自動車輸入組合(JAIA)の立場から-

日本自動車輸入組合 碓 孝浩

- ・JNCAPに向けた試験機関の取り組み

(一財)日本自動車研究所 安全研究部 山崎 邦夫

- ・自動車ユーザーの立場から

モータージャーナリスト 森山 みずほ

- ・メディアの立場から

(株)JAF メディアワークス ITメディア部 鳥塚 俊洋

パネルディスカッション3. (共催: 公益財団法人交通事故総合分析センター)

## 高齢者の交通事故予防対策; 人、道、車、救助・救急の視点から

6月21日 第1会場 9:30 - 11:00

座長: 滋賀医科大学社会医学講座法医学部門 一杉 正仁  
公立諏訪東京理科大学 國行 浩史

・ 高齢運転者の安全なモビリティを目指して

— “人の視点” からの高齢者の交通事故分析 —

公財 交通事故総合分析センター 小菅 英恵

・ 高齢者事故への取り組み

— 幹線道路や生活道路での取り組み事例 —

公財 交通事故総合分析センター 山本 俊雄

・ 四輪車後退時の死傷事故に関する分析

公財 交通事故総合分析センター 木下 義彦

・ 救急搬送データによる HELPNET の効果分析

— ITARDA マクロデータとのマッチング —

公財 交通事故総合分析センター 木内 透  
株 日本緊急通報サービス 斎藤 信夫